

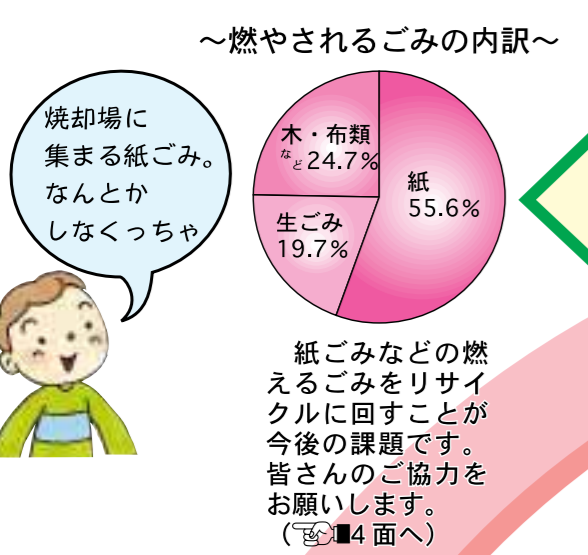
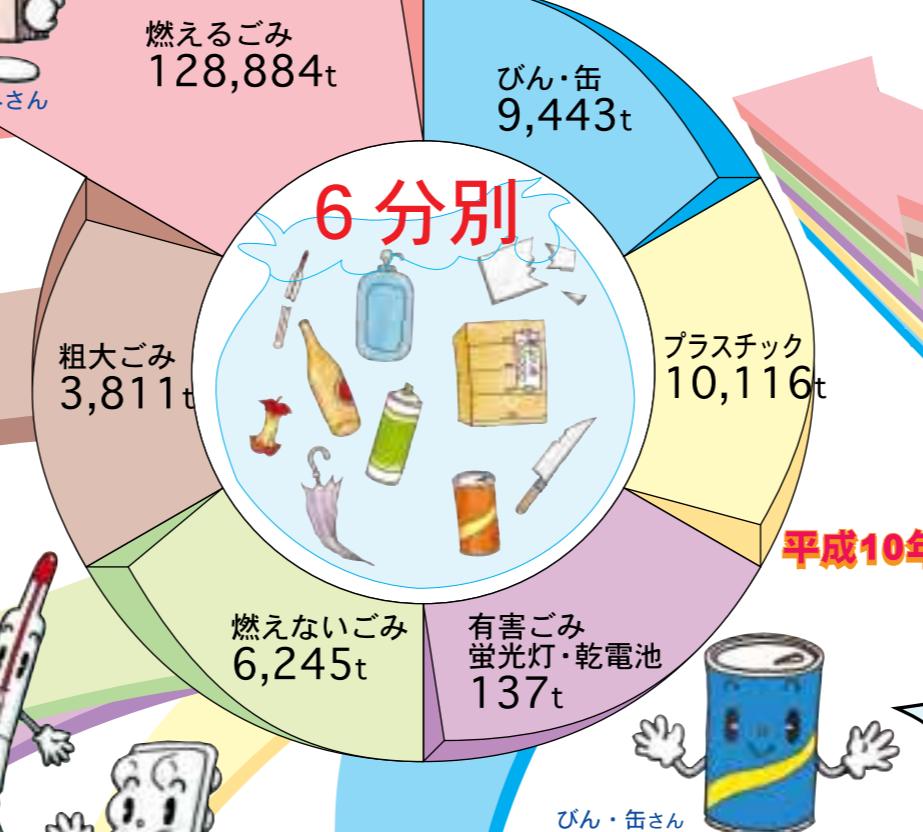
# リサイクルは市民一人ひとりの協力で

## 資源循環型社会に向けて

何気なく捨てている毎日のごみの中には、びん・缶・古紙などリサイクル可能な資源が含まれています。この資源をさまざまな形で有効に再利用するには、私たちがしっかりと分別をすることが、私たちが処理されるのではなく、資源として循環していくのです。

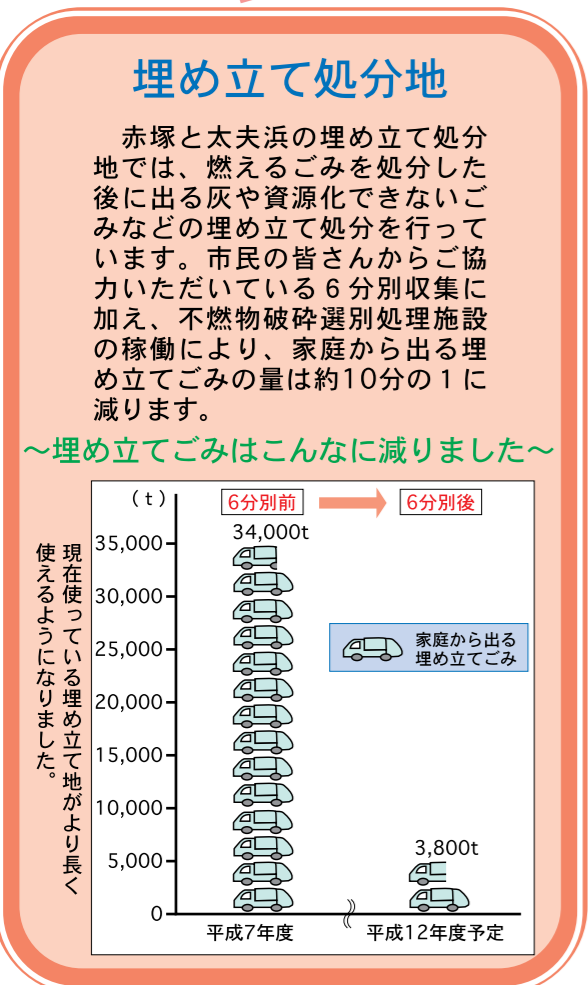
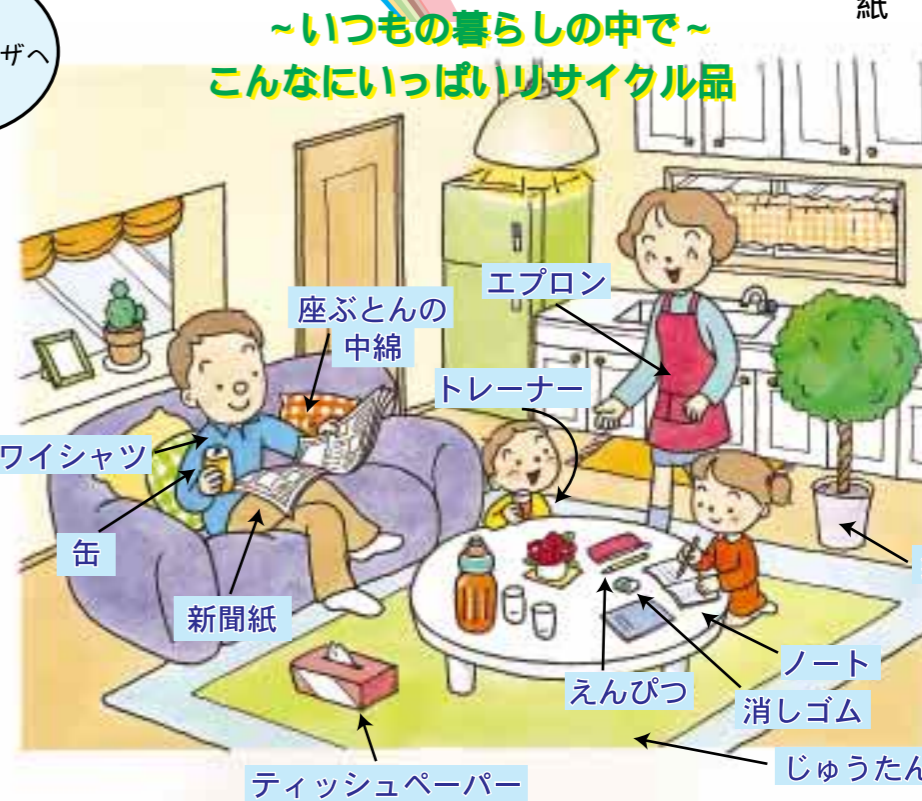
分けて出せば資源になるんだね！色をたどってごみの行方を見よう！！

ごみを処理する費用は市民1人当たり15,287円/年なんですって



こんなにリサイクルできるものが入っています

焼却場  
家庭などから出た燃えるごみは、新田清掃センターと亀田焼却場に分けられ、焼却処分されます。



破碎選別処理施設  
新田の不燃物破碎選別処理施設

亀田焼却場の破碎処理施設では、粗大ごみを4ヶ月から稼働する新田の不燃物破碎選別処理施設では、燃えるごみの減量と資源化を図るため、細かく破砕して処理することにより、埋め立てごみの量を大幅に減らすことができています。今までの埋め立てごみの延命化に比べ、埋め立てごみの量は約10分の1に減ります。

エコプラザ  
びん・缶を再利用するための選別施設です。また、ごみの減量やリサイクル活動の拠点施設として、各種講座や不用品などをリサイクルする提供事業など啓発活動も行っています。

～3年間で資源化されたびん・缶～

年度	資源化されたびん・缶 (t)
8年度	2,418
9年度	6,156
10年度	6,159

リサイクル物知り講座 アルミ缶

アルミ缶を作るには大量のエネルギーが必要ですが、リサイクルすれば、原料から作るよりも97%もエネルギーを節約できます。また、平成10年度にエコプラザでリサイクルされたアルミ缶は747。これは新潟市全世帯の約83日分の電力量になります。

油化処理施設—民間  
プラスチックは、いったん油化処理施設に集められ、一部は重油などへと再生されます。また、ペットボトルは、リサイクル業者に引き渡され、衣類や文房具などに再生されます。今までごみだったプラスチックが一転して貴重な資源となるほか、埋め立てられるごみの大幅軽減にもなります。

再生工場  
乾電池などの有害ごみは、北海道の留辺蘂町に送られ、100%再生されます。

鉄、アルミ、亜鉛、水銀、重油、ペット

※皮革製品(カバンやベルトなど)の金具など

アクアパーク(仮称) 余熱利用施設  
焼却場から発生する余熱は貴重なエネルギーです。そこで、新田清掃センターの、ごみ焼却から生み出される蒸気と、その蒸気から発電した電気を有効に利用しようとして「アクアパーク」が建設されています。温湯機能を持つこの施設は、水着を着用して利用するアクアガーデンのほか、大浴場やリラクゼーションなど、子どもからお年寄りまで楽しめる予定です。

決められた場所・曜日・時間を守りましょう  
●袋の口をしっかりと縛る  
●三角コーナーなどを使って十分に水切りを

一人ひとりがマナーを守って気持ちよくごみステーションをしようね

気をつけてごみ出しマナー  
私たちは、ごみを出してしまえばおしまいです。その後もごみは、人の手で処理されています。

スプレー缶は使いきって穴を開けてください  
(戸外の風通しの良い場所で)

こんなごみで作業員の方がケガをすることもあって

自宅で使う注射針は医療機関に返してください

